

親子でキノコについて楽しく学ぶ方法

中田 真也子

1 はじめに

2009年に初めてキノコ観察会に参加してから、我が家の5人の子供たちはキノコが大好きになりました。

観察会では、キノコの観察や採集には積極的な子供たちですが、最終的に採集したキノコの説明会には集中して参加できないのが親の悩みでした。これでは、せっかくキノコに興味があるのにキノコの知識が増えていかないのではないかとそんな不安がありました。

そこで、1年前から我が家で実践している、写真やスケッチを用いて子供たちがキノコをじっくり学べる方法について紹介します。

2 考案した方法

(1) まずは雰囲気作り(事前学習)

昨年もしくは前回参加したキノコの写真とちょっとした特徴を記載して、家中の壁に貼り、キノコ観察会に向けた雰囲気作りをします。これはさらに、前回の復習にもなります。(写真1)



写真1 室内に印刷したキノコの写真を貼っている様子

(2) 観察会当日

観察会当日は、子供達に「とにかくキノコを探そう！見つける！」をテーマに観察地を探させます。(写真2)



写真2 子供は探して採るのが大好き！

(3) 観察会での説明会の時

観察会最後の説明会は、家族の一人が代表で参加し、キノコの名前と特徴についてメモをとります。

(写真3)



写真3 キノコの説明会
特徴などをメモする

説明会終了後、廃棄されるキノコのうち、形の良いキノコについて紙袋に入れて自宅に持ち帰ります。

分類後は、気に入ったキノコについて子供達と一緒にスケッチをします。(写真4、図1～7)

(4) 自宅での観察会

持ち帰ったキノコを、子供たちと一緒に分類して並べます。(この時、説明会のメモが重要となります。)

分類する際は、子供達に図鑑をつかわせて調べさせます。さらに、観察会で聞いてきたキノコの特徴について話をします。

(5) 友達と身近なミニキノコ観察会

キノコに関心が高くなってきたら、近くの公園等でミニ観察会を開催し、友達と一緒にキノコ観察を楽しみます。(写真5)



写真4
キノコを分類した後に
スケッチしている子供達



写真5 近くの公園でのキノコ観察会



図1 5歳女児のイラスト
(ノウタケ)

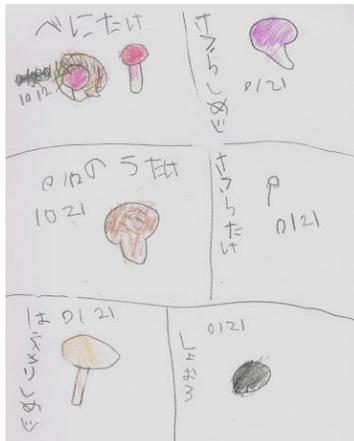


図2 5歳女児のイラスト

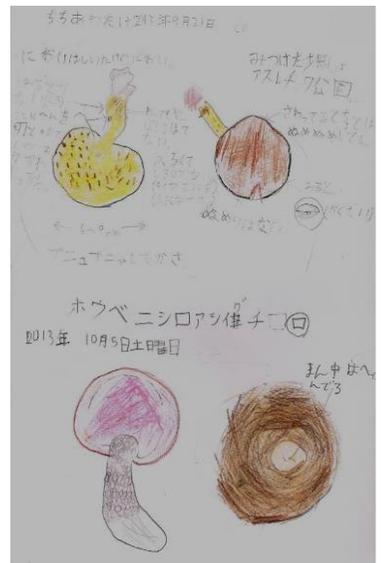


図3 7歳男児のイラスト

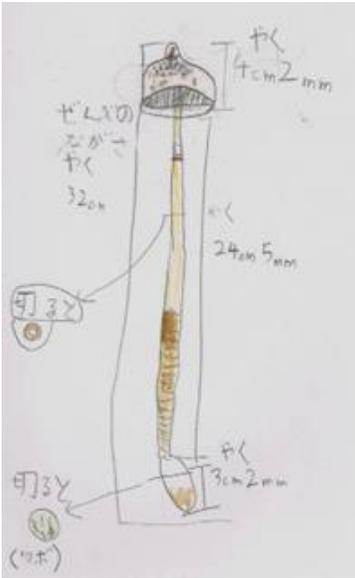


図4 7歳男児のイラスト
(カラカサタケ)

※ 手触りやにおいなど、イラスト
で表現できないことは、余白に
書きいれます。

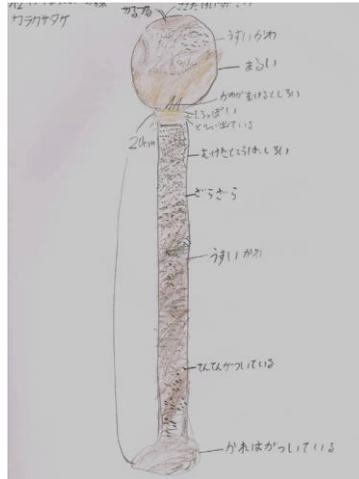


図5 9歳男児のイラスト
(カラカサタケ)

図6
11歳女児のイラスト
(クロハツ) →

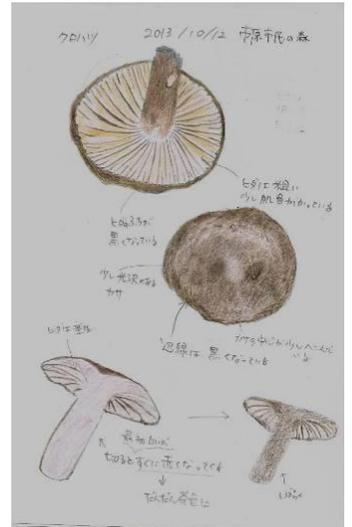


図7 大人(親)のイラスト
(クロハツ)

3 実践結果

この方法により、我が家の子供たちのキノコ好きは現在も継続中です。

キノコは、その可愛らしい形、奇妙な形から子供たちを魅了します。大きさも手に取るのにちょうど良い大きさです。どこから出てくるか分からないけれど、見つけると手にとってじっくり観察できるのも、子供たちがキノコを好む理由だと思います。キノコは、子供たちが自然の面白さを知るためのよい素材になると思います。

私は、千葉市美浜区という都市部に住んでいます。埋立地にも関わらずキノコは沢山みられます。しかし残念なことに近所に住む

友人に「キノコは身近にも沢山あって面白いよ。」と言っても「キノコは興味があるけど、よく分からないから・・・」と答えが返ってきます。もっと沢山の親子がキノコの基本を知るチャンスがあれば、キノコ、ひいては自然の面白さに夢中になってもらえるのではないかな。そのような思いから、2011年より地元でもキノコ観察会(又は「秋の生き物観察会」)を開催してきました。これからも自分の子供たちとともにキノコの面白さを勉強し、キノコの面白さを伝えられる伝道師になればと思っています。